

平成26年度当初予算(案)の概要

★予算規模

一般会計 2,762億円(対前年度 98億円増 +3.7%)

全会計 5,804億円(対前年度 263億円増 +4.7%)

★予算編成のポイント

- ◆財政の健全性の確保に留意しつつ、地域経済の活性化に不可欠な投資的事業を措置(対前年度20億円増 +4.6%)
- ◆重点政策の3つの柱(「都市の活力を高める取組」、「安心・安全な地域をつくる取組」、「次世代人材を育む取組」)に沿って、予算を重点配分
- ◆国の有利な財政措置を活用し、スピード感をもって防災・減災対策を推進するとともに、静岡型待機児童対策など子育て支援を積極的に展開
- ◆行財政改革推進大綱に基づく歳出削減などにより、臨時財政対策債を除く市債の発行額を抑制

予算編成の基本的な考え方

『都市の発展』と『暮らしの充実』

「世界に輝く『静岡』の創造」から「世界に輝く『静岡』の実現」へのステップアップに向けて

I 都市の活力を高める取組

地域資源のみがきあげと交流人口の拡大

80.2億円

1 地域経済の活性化・人口活力の維持等(57.5億円)



- ◎発見!しずおか旬の食材プロジェクト(しずまえ鮮魚普及事業ほか)
- ◎都市型産業の立地支援制度の創設
- 南アルプスユネスコエコパークの登録推進
- 中山間地・オクシズの活性化
- 東名新インターチェンジの整備
- 清水都心ウォーターフロント活性化の推進

2 三保松原の保全と活用・来訪者対策(4.6億円)



- ◎三保松原保全活用事業(松原全体の管理基本計画の策定、土地所有者調査、ボランティア支援等)
- ◎遊歩道、観光案内看板・標識の整備等
- ◎観光バス駐車場用地取得(債務負担行為)
- 松くい虫防除・草刈・土壌等調査
- 羽衣公園、羽衣資料館の整備・検討

3 徳川家康公顕彰四百年記念事業の推進(1.9億円)



- ◎徳川家康公顕彰四百年祭オープニングイベント
- ◎歴史文化施設さきがけ企画展等の実施
- ◎「東海道歴史街道」をテーマとしたまち歩き観光推進事業
- ◎(仮称)るるぶ特別編集号「家康公も愛したまち静岡市」の制作・活用

重点政策の3つの柱

◎…新規事業
○…拡充・継続事業

II 安心・安全な地域をつくる取組

市民生活の「不安」を「安心」に

246.9億円

1 巨大災害に対応する防災・減災対策の強化(50.1億円)

- 津波避難施設(タワー3基)の整備
- ◎災害対策本部の機能強化
- 緊急輸送路の整備及び確保
- ◎自主防災組織等への緊急情報防災ラジオの配備
- ◎民間大規模建築物の耐震診断への助成



2 消防・救急広域化の推進、消防力の強化(43.3億円)

- 消防本部(仮称)石田消防署庁舎等の建設
- ◎広域化に向けた消防職員特殊災害研修
- 消防救急無線デジタル化、消防総合情報システムの整備



3 地域医療の確保と地域の安心安全の強化(52.5億円)

- 公立病院の機能強化による地域医療の確保
- ◎「明るく、目立って、光る高齢者」交通安全の推進
- ◎福祉避難所の機能強化
- ◎生活困窮者への支援事業の創設



III 次世代人材を育む取組

まちづくりは人づくりから

73.3億円

1 次世代のための支援の充実(27.0億円)

- ◎早期発育支援のための幼児言語教室の増設
- ◎特定不妊治療費助成制度の創設
- ◎しずおかエンジェルプロジェクト(静岡型結婚支援事業)



2 子ども・子育て支援新制度に向けた取組と「静岡型」待機児童対策のパワーアップ(29.8億円)

- ◎葵待機児童園の整備(24人)
- ◎私立認可保育所の整備(260人)・小規模保育事業の新設(126人)・認可外保育施設の移行支援(112人)
- ◎私立幼稚園の認定こども園化の推進(300人)
- ◎子育て世帯支援体制の強化(仮称)子ども未来サポーター・保育コーディネーターの設置



3 学校教育環境の整備(16.5億円)

- ◎お茶で学ぶ静岡型人材育成事業
- 学力アップサポート事業の拡充(6校→12校)
- ◎森下小学校の改築

